SERVIS

Extender Cat5 Wide Band

取扱説明書

小型遠隔ユニット [FE-1200CW]

富士通コンポーネント株式会社

この装置は、クラスＡ情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計･製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御などの、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命･身体に対する重大な危険性を伴う用途ならびに海底中継器、宇宙衛星など、極めて高度な信頼性が要求される用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計･製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないで下さい。お客様又は第三者からの如何なる請求又は損害賠償に対しても、富士通コンポーネント株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

目　　次

ハイセイフティ用途での使用について

１．はじめに

このたびは、小型遠隔ユニット(以降、遠隔ユニットまたは本装置と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本装置は、サーバとキーボード、マウス、モニタを離れた場所に設置できるため設置場所の制限が大幅に改善されます。
本書は、本装置の基本的なことがらについて説明しています。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。
また、本書は本装置の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管して下さい。
本製品として提供される本書、装置本体は、お客様の責任でご使用下さい。
本製品の使用によって発生する損失やデータの損失については、富士通コンポーネント株式会社では一切責任を負いかねます。また、本製品の障害の保証範囲はどのような場合でも、本製品の代金としてお支払いいただいた金額を超えることはありません。あらかじめご了承下さい。

２．表記規則

この説明書で使用している記号と文字の意味は次のとおりです。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があること、および物的損害（本装置またはサーバの損害など）が発生する可能性があることを示しています。

Point　この記号のあとの文書は補足説明、注釈、ヒントです。

カギ括弧（「」）	参照する章のタイトルや用語の強調をしています
<>	キーボード上のキーをしめします 例：<ESC>は ESC キーを<ENTER>は ENTER キーを示します
() で囲まれた数字	順序に従って行う必要がある操作を示します
[]	本製品のフロントパネル又はリアパネルにある LED,スイッチ,コネクタ等を示します

３．添付品の確認

添付品が揃っていることを確認し、（✓点）を付けて下さい。

□ LOCAL(送信ユニット)	×1
□ REMOTE(受信ユニット)	×1
□ 取扱説明書（本書）	×1
□ AC アダプタ	×2
□ AC コード［1m]	×2
□ ナイロンクランプ	×2
□ ネジ(ナイロンクランプ取り付け用、FG 取り付け用)	×4
□ フェライトコア	×1
□ ナイロンバンド(AC アダプタ結束用)	×2

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、担当営業員までお申し付け下さい。

４．重要なお知らせ

「5.安全性」には、本装置で作業する際に注意しなければならない、安全性に関する情報を記載しています。よくお読みのうえ、正しくご使用下さい。

５．安全性

注意

安全上の注意

- 本装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用して下さい。
- 本装置の取り付け中と使用前に、「13.仕様」の環境条件についての記事をよくお読みのうえ、正しくご使用下さい。
- 電源はスイッチ等で切断しない常時通電している電源コンセントから取って下さい。
- 本装置を寒冷な環境から設置場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ温度になってから使用して下さい。
- 損傷しないようにすべてのケーブルを配置して下さい。ケーブルを接続または取り外すときは、「10.ケーブルの接続と取り外し」の該当部分を参照して下さい。
- 雷雨のときは、ケーブルを接続したり取り外したりしないで下さい。
- 本装置の内部に異物（ネックレスやクリップなど）や液体が入らないようにして下さい。
- 緊急の場合（筐体、部品、またはケーブルの損傷、液体や異物の侵入など）は、ただちに装置からすべてのケーブルを外して、担当営業員に連絡して下さい。
- 本装置を修理できるのは資格のある技術者だけです。資格のないユーザが本装置を開き、誤った修理や改造をおこなうと、感電や火災の原因になることがあります。
- ケーブルは強く引っ張らず、必ずコネクタ部を持って抜いて下さい。
- 濡れた手での使用またはコネクタの抜き差しはしないで下さい。
- 本装置の上には、コップなど不要な物をおかないで下さい。
- 警告マーク（稲妻マークなど）が付いている部品（電源装置など）の分解、取り外し、交換は、資格のある人以外はできません。

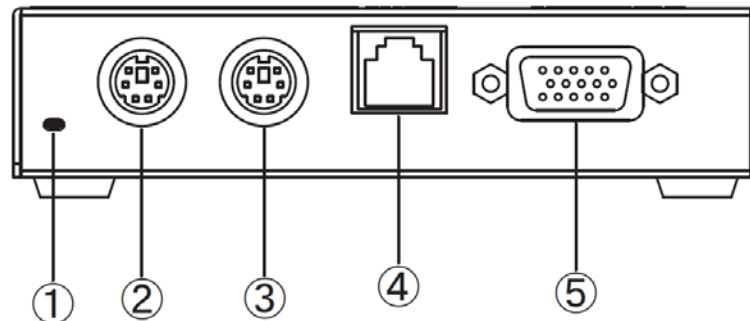
- 周辺機器用のケーブルは、干渉を防ぐために適切な絶縁処理が必要となりますので、専用のケーブルをご使用下さい。
- 本書は本装置とともに大切に保管して下さい。本装置を第三者に譲渡する場合は、本書も譲渡して下さい。

６．特長

- 当社独自の高品位画像伝送技術により高解像度モニタでもストレス無く遠隔操作できます。
- KVM スイッチと組み合わせて、離れた場所の多数のサーバを管理することが可能です。
- サーバの電源投入も遠隔で操作可能です。

7．各部の名称と働き

7-1. LOCAL（送信ユニット）

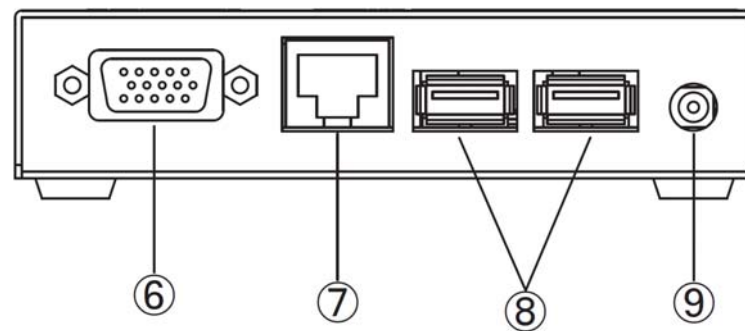
フロントパネル

① [Power] LED（緑色）
電源を入れると、緑色 LED が点灯します。電源が切れると消灯します。
LOCAL と REMOTE の[Cat5E Port]コネクタが接続されていないときは点滅します。
[USB]コネクタに接続したデバイスが過電流状態の場合は、赤色 LED が点灯します。
詳細は「7-3 LED 表示一覧」を参照下さい。

② [PS/2 マウス]コネクタ（緑色）
PS/2 マウスを接続します。REMOTE 側にもマウスを接続した場合、同時操作はできません。
また、USB マウスとの併用は出来ません。PS/2 マウス、USB マウスを同時に接続した場合は USB マウスが優先します。

③ [PS/2 キーボード]コネクタ（紫色）
PS/2 キーボードを接続します。REMOTE 側にもキーボードを接続した場合、同時操作はできません。また、USB キーボードとの併用は出来ません。PS/2 キーボード、USB キーボードを同時に接続した場合は USB キーボードが優先します。

④ [リモート電源コンセント]コネクタ
当社製リモート電源コンセント(FP-MMCB02-100：別売)を使用する際、モジュラケーブルを接続します。
接続の際は、リモート電源コンセントの取扱説明書に従って接続して下さい。
出荷時は、コネクタにダストカバーが取り付けてあります。ご使用の際は、カバーを取り外して、ケーブルを接続して下さい。

⑤ [SERVER]コネクタ（黒色）
サーバと本機を専用のサーバ/PC 接続専用ケーブルで接続します。
形格は 26 ページ「オプション」を参照して下さい。

リアパネル

⑥ [モニタ]コネクタ（青色）
モニタを接続します。

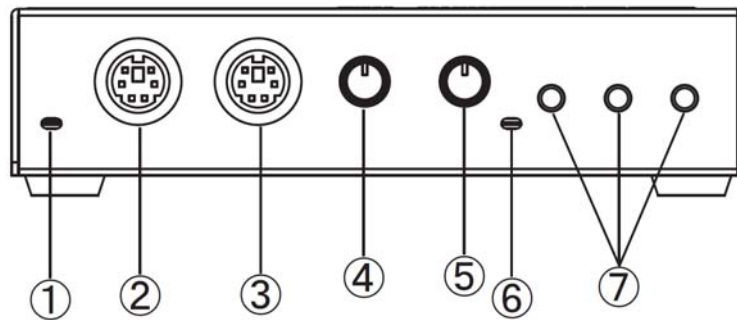
⑦ [Cat5E Port]コネクタ
Cat5E UTP ケーブルにて REMOTE の[Cat5E Port]コネクタと接続します。

⑧ [USB]コネクタ
USB キーボード･マウス・ハブを接続します。
キーボード・マウス・ハブはどちらに接続しても動作します。
キーボード・マウス・ハブ以外は接続できません。
接続できるデバイスの最大数は下記の通りです。

・キーボード・マウス合わせて 4 台
・ハブ 1 段

⑨ [AC アダプタ]コネクタ
添付の AC アダプタを接続します。添付の AC アダプタ以外は使用しないで下さい。

7-2. REMOTE（受信ユニット）

フロントパネル

① [Power]LED
電源を入れると、緑色 LED が点灯します。電源が切れると消灯します。
LOCAL と REMOTE の[Cat5E Port]コネクタが接続されていないときは点滅します。
[USB]コネクタに接続したデバイスが過電流状態の場合は、赤色 LED が点灯します。
詳細は「7-3 LED 表示一覧」を参照下さい。

② [PS/2 マウス]コネクタ（緑色）
PS/2 マウスを接続します。REMOTE 側にもマウスを接続した場合、同時操作はできません。
また、USB マウスとの併用は出来ません。PS/2 マウス、USB マウスを同時に接続した場合は USB マウスが優先します。

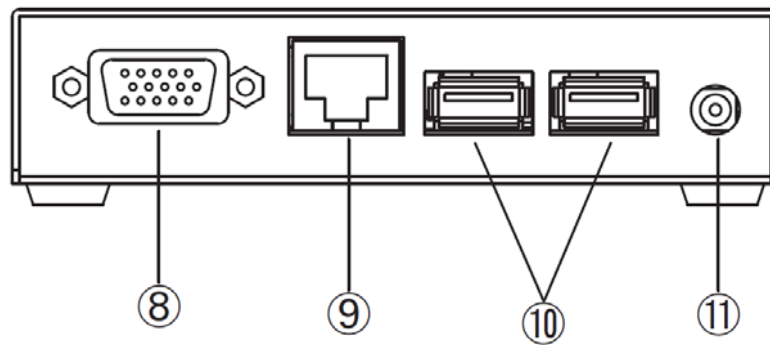
③ [PS/2 キーボード]コネクタ（紫色）
PS/2 キーボードを接続します。REMOTE 側にもキーボードを接続した場合、同時操作はできません。また、USB キーボードとの併用は出来ません。PS/2 キーボード、USB キーボードを同時に接続した場合は USB キーボードが優先します。

④ [Focus]ボリューム
REMOTE にモニタを接続した際、画面のピントを合わせる場合に使用します。
Cat5EUTP ケーブルが長い場合には、右に回します。短い場合は、左に回すとピントが合います。
詳細は「11-1-1 画質の調整」を参照下さい。

⑤ [Brightness]ボリューム
REMOTE にモニタを接続した際、画面の明るさを調整する場合に使用します。
右に回すと画面が明るくなります。お好みの明るさに調整してご使用下さい。
詳細は「11-1-1 画質の調整」を参照下さい。

⑥ [RGB]LED
⑦ [Select]スイッチ, [◀],[▶]スイッチ
REMOTE にモニタを接続した際、画面の色ずれがある場合に、RGB のスキュー（ずれ）を補正します。詳細は「11-1-2 色ずれの調整」を参照下さい。
[RGB]LED、[Select]スイッチ、[◀],[▶]スイッチは、キーボードの言語設定を行う際にも使用します。

詳細は「7-3 LED 表示一覧」及び「11-1-2 色ずれの調整」を参照下さい。

リアパネル

⑧ [モニタ]コネクタ（青色）
モニタを接続します。

⑨ [Cat5E Port]コネクタ
Cat5E UTP ケーブルにて LOCAL の[Cat5E Port]コネクタと接続します。

⑩ [USB]コネクタ
USB キーボード･マウス・ハブを接続します。
キーボード・マウス・ハブはどちらに接続しても動作します。
キーボード・マウス・ハブ以外は接続できません。
接続できるデバイスの最大数は下記の通りです。

・キーボード・マウス合わせて 4 台
・ハブ 1 段

⑪ [AC アダプタ]コネクタ
添付の AC アダプタを接続します。添付の AC アダプタ以外は使用しないで下さい。

7-3. LED 表示一覧

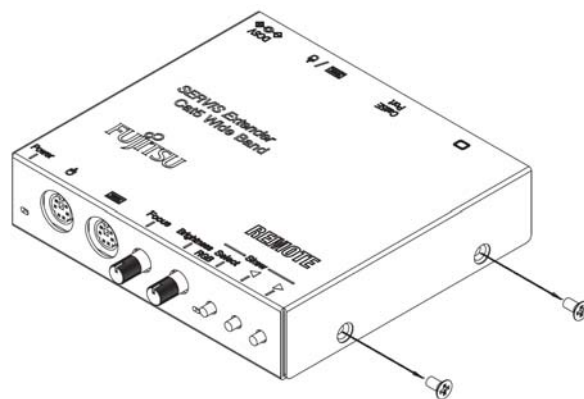
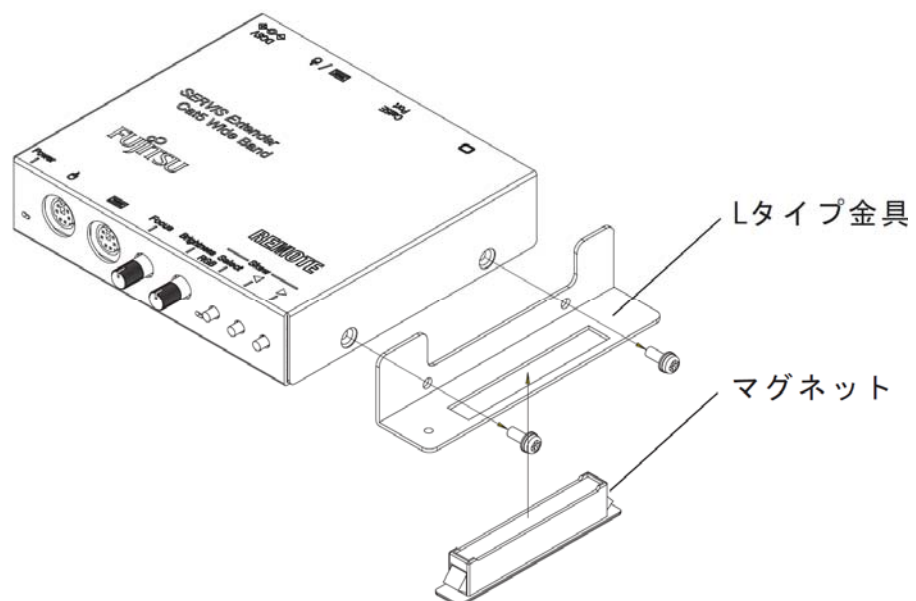
LED	状態	LED 表示
[Power] LED (LOCAL)	AC アダプタより電源供給無	消灯
	AC アダプタより電源供給有で、[Cat5E Port]コネクタに Cat5E UTP ケーブルが接続(LOCAL-REMOTE 間)されている時	緑色　点灯
	AC アダプタより電源供給有で、[Cat5E Port]コネクタに Cat5E UTP ケーブルが接続(LOCAL-REMOTE 間)されていない時 又は、REMOTE の電源が OFF の時	緑色　点滅 (150ms 間隔)
	REMOTE に接続されたキーボードの操作によりオプションのリモート電源コンセントへの操作が行われた場合	緑色　一瞬消灯 (OFF → ON)
	REMOTE に接続されたキーボードの操作により EDID の読み込み操作が行われた場合	緑色　一瞬消灯 (OFF → ON)
	USB 過電流状態 USB キーボード、マウス、HUB 使用不可	赤色　点灯
[Power] LED (REMOTE)	AC アダプタより電源供給無	消灯
	AC アダプタより電源供給有で、[Cat5E Port]コネクタに Cat5E UTP ケーブルが接続(LOCAL-REMOTE 間)されている時 又は、LOCAL の電源が OFF の時	緑色　点灯
	AC アダプタより電源供給有で、[Cat5E Port]コネクタに Cat5E UTP ケーブルが接続(LOCAL-REMOTE 間)されていない時	緑色　点滅 (150ms 間隔)
	REMOTE に接続されたキーボードの操作によりオプションのリモート電源コンセントへの操作が行われた場合	緑色　一瞬消灯 (OFF → ON)
	REMOTE に接続されたキーボードの操作により EDID の読み込み操作が行われた場合	緑色　一瞬消灯 (OFF → ON)
	言語設定モード中、[◀],[▶]スイッチが押下された時	設定内容により点灯又は消灯
	言語設定モードから抜ける時	イルミネーション点滅
	USB 過電流状態 USB キーボード、マウス、HUB 使用不可	赤色　点灯
[RGB] LED	SKEW 調整中の調整する色(RGB)	調整する選択色が点灯
	言語設定モード中、[◀],[▶]スイッチが押下された時	設定内容により点灯又は消灯
	言語設定モードから抜ける時	イルミネーション点滅

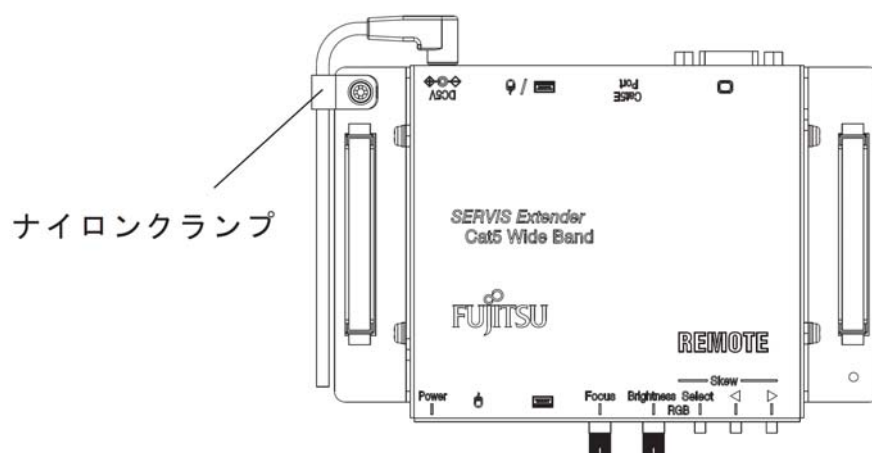
８．取付金具（オプション品）を使用した固定方法

オプションの取付金具を用意しています。
取付金具を利用することにより、机の側面やディスプレイの背面に簡単に取り付けることができます。
取付金具には、L タイプと VESA 取付金具の 2 種類があります。
形格は 26 ページ「オプション」を参照して下さい。

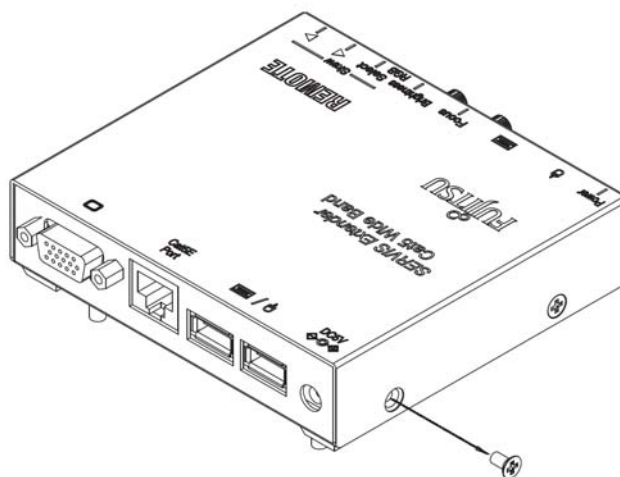
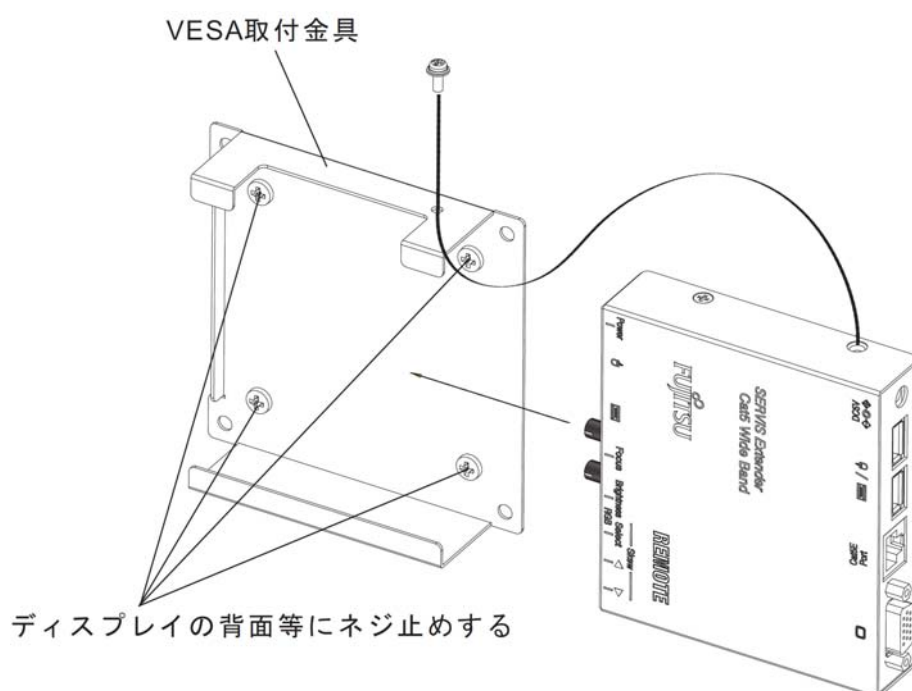
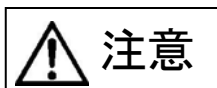
8-1. L タイプ取付金具

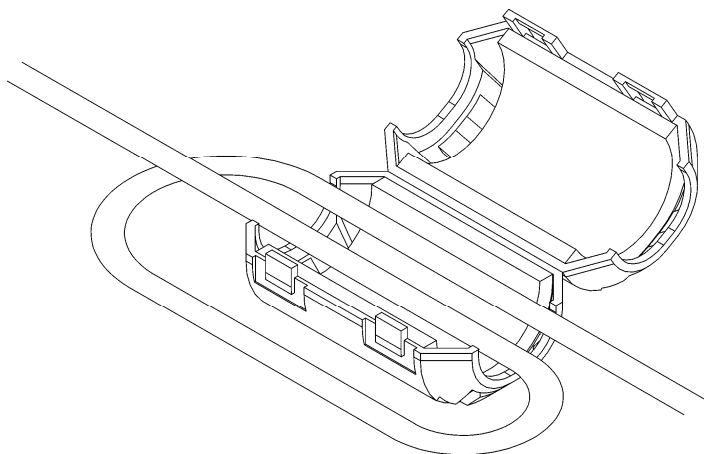
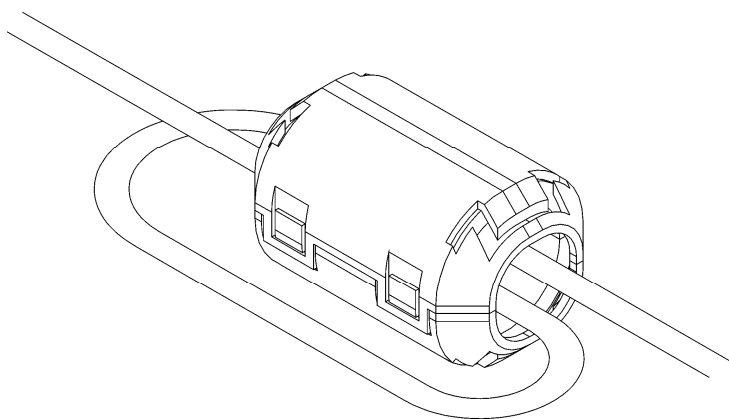
注：以下の説明は REMOTE（受信ユニット）を例に説明しますが LOCAL（送信ユニット）の場合も同様です。

(1) ケース側面のネジを取り外します。
（取り外したネジは使用しませんので保管しておいて下さい）

(2) 金具に添付されているネジを使ってケース側面にＬタイプ金具をネジ止めします。
次にマグネット（金具の付属品）をＬタイプ金具の角穴に差し込みます。

(3) 反対側の側面も 2 項と同様にＬタイプ金具とマグネットを取り付けます。

⑷ Ｌタイプ金具のマグネットにより、机（金属製）の側面などに取り付けます。
　電源コードの抜けを防止するため、必要に応じて下図のようにナイロンクランプ（添付品）とネジ（添付品）を使って電源コードを固定して下さい。

8-2. VESA取付金具

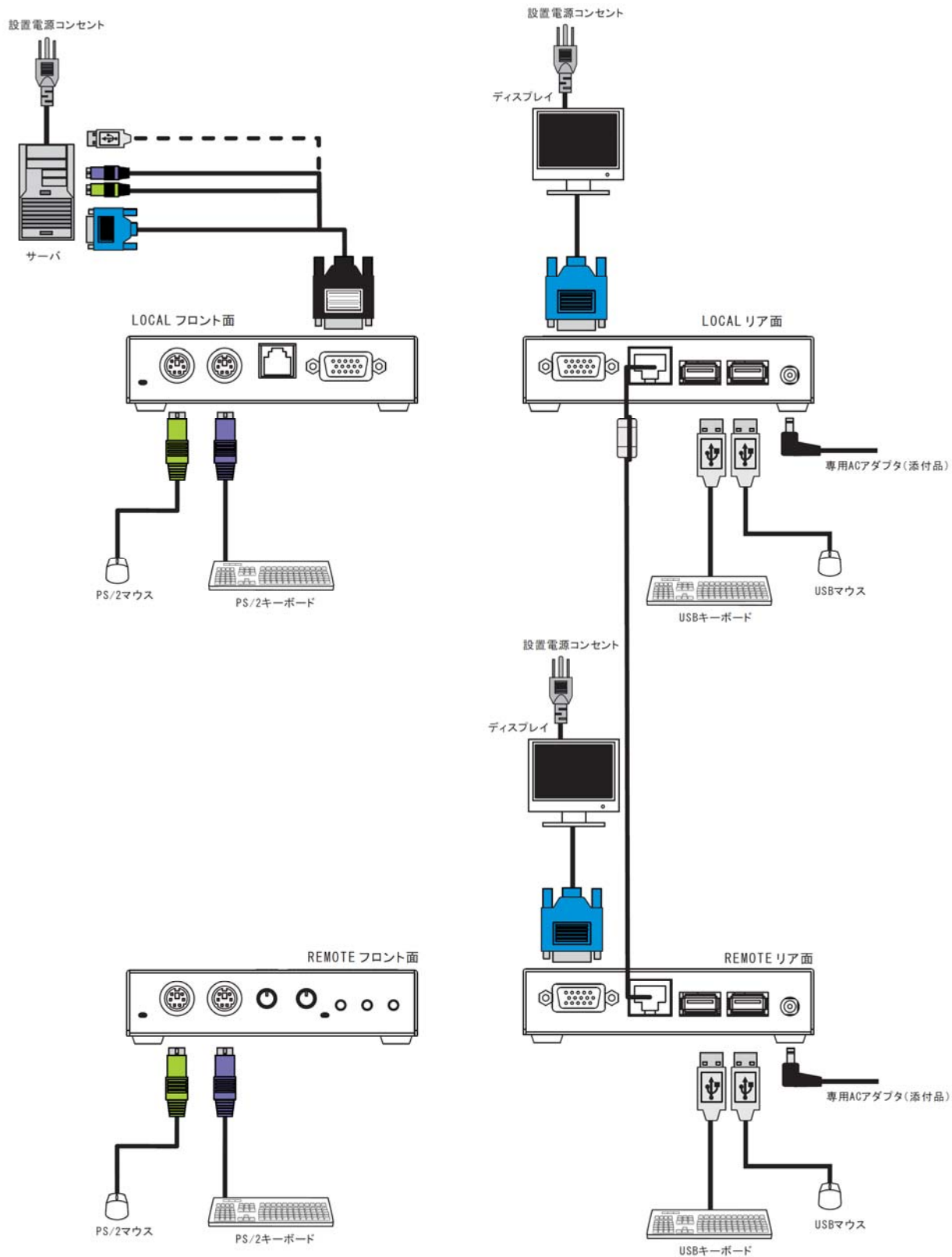
注：以下の説明はREMOTE（受信ユニット）を例に説明しますがLOCAL（送信ユニット）の場合も同様です。

(1) ケース側面のネジを取り外します。
（取り外したネジは使用しませんので保管しておいて下さい）

(2) 金具に添付されているネジを使って金具をディスプレイの背面等にネジ止めします。
次に本装置を金具にネジ止め（1ヶ所）します。
本装置を金具に取り付ける際に本装置底面に貼り付けされているゴム足がネジと干渉する場合は、ゴム足を剥がして干渉しない位置に張り替えて下さい。
（ゴム足を剥がす際に、手の爪を剥がさないようご注意下さい）

９．フェライトコアの取り付け

⚠ 注意	LOCAL(送信ユニット)側にフェライトコアが、実装されるように Cat5E UTP ケーブルに、フェライトコアをとりつけて下さい。(不要輻射低減の為) フェライトコアに、ケーブルまたは指等をはさまないように注意しながら、確実にロックして下さい。

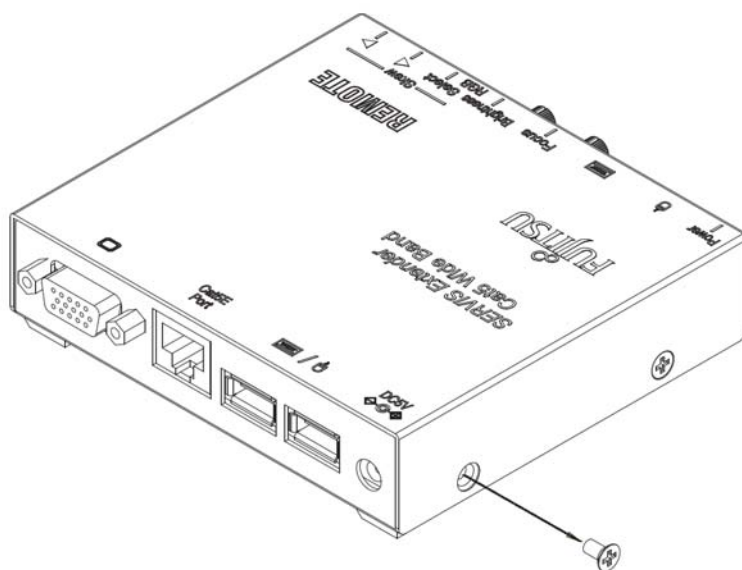
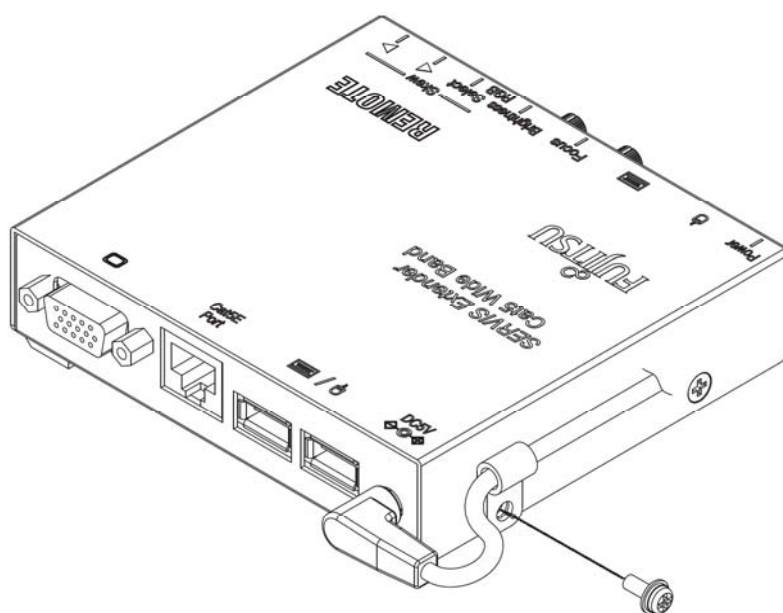
(1) フェライトコアに、Cat5E UTP ケーブルを１巻して固定して下さい。
LOCAL(送信ユニット)側の装置から約 20cm 以内をめどに、フェライトコアが実装されるように、取り付けて下さい。

(2) ケーブル、指などをはさまないように確実にロックします。

１０．ケーブルの接続と取り外し

10-1. ケーブルの接続

(1) サーバの電源ケーブルを電源コンセントに接続します。ただし、サーバ電源はOFFのままにして下さい。
(2) サーバのキーボードコネクタ、マウスコネクタ及びモニタに別手配のサーバ/PC接続専用ケーブルを接続します。
(3) サーバ/PC接続専用ケーブルの反対側のコネクタを本装置のサーバ接続用ポートに接続します。
(4) [CONSOLE] ポートにキーボード、マウス、モニタを接続します。PS/2、USBの両方に接続してもUSB側しか動作しません。
(LOCAL,REMOTEのご使用になるコンソールへ任意に接続)
(5) LOCAL,REMOTE間をCat5E UTPケーブルにて接続します。
(6) LOCAL,REMOTEそれぞれにACアダプタを接続します。
(7) モニタの電源を入れEDIDをREMOTEに読み込ませます。
(詳細は、「11-2. プラグアンドプレイデータ(EDIDデータ)の設定」を参照下さい)
(8) サーバの電源を入れます。

設置電源コンセント
サーバ
LOCAL フロント面
PS/2マウス
PS/2キーボード
設置電源コンセント
ディスプレイ
LOCAL リア面
専用ACアダプタ（添付品）
USBマウス
USBキーボード
設置電源コンセント
ディスプレイ
REMOTE フロント面
REMOTE リア面
専用ACアダプタ（添付品）
PS/2マウス
PS/2キーボード
USBマウス
USBキーボード

10-2. AC アダプタのコード固定方法

⚠ 注意	作業をするときは、AC アダプタの電源コードをコンセントから抜いて下さい。

(1) 遠隔ユニットのカバー取付ネジを 1 本取り外します。
（取り外したネジは、使用しませんので、保管しておいて下さい）

(2) [AC アダプタ]コネクタに AC アダプタのプラグを差し込みます。次ぎに、本装置に添付されている“ナイロンクランプ”と“ネジ”を使って、図のようにコードを固定します。

10-3. ケーブルの取り外し

影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜いた後で、各ケーブルを取り外して下さい。

１１．各種設定方法、操作方法

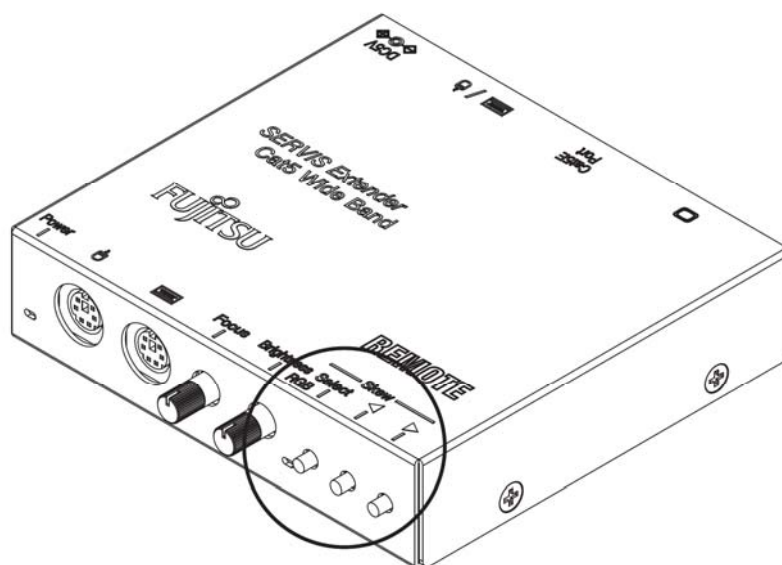
11-1. 画質調整

REMOTE でモニタを使用する際、Cat5 ケーブルによる減衰の影響で画質が劣化します。
画質及び色ずれの調整を行うことで、劣化した画質を補正することができます。

11-1-1 画質の調整

REMOTE でモニタを使用する際 Cat5E UTP ケーブルによる減衰の影響で画質が劣化します。
下記を実施頂くことで、劣化した画質を補正することができます。

(1) Brightness ボリュームを回して、ご希望の明るさに調整します。
(2) Focus ボリュームを回して、画質がシャープになるように調整します。
(3) 「11-1-2 色ずれの調整」を参照して、色ずれ調整を行います。但し、色ずれが気にならない場合は、不要です。
(4) モニタの自動調整ボタンを押下し、画質が鮮明（色ずれ、にじみ等無い状態）になっているか確認下さい。

11-1-2 色ずれの調整

(1)色ずれ（Skew）を調整する時には、画面上に背景を黒にした、白の縦線(細線)1本を引いた画面を表示します。ペイント等のアプリケーションソフトを使用することで簡単に作成することができます。

(2)REMOTEのフロント部にSkewと表示された部分のスイッチを使用します。
まず[Select]スイッチを押し調整する色（R,G,B）を選択します。
スイッチを押すごとに“R”→“G”→“B”→終了→“R”・・と切り替わり、「ピ」というブザー音が鳴ります。
色を選択した後、
[▶]スイッチを押すと選択した色線が**右側へ移動**
[◀]スイッチを押すと**左に移動**します。

(3)最初に大きく動かして、色ずれ等が変化することを確認して下さい、色ずれ等の変化が分かってきたら、移動量を少なくして白色の縦線1本になるように調整して下さい。

11-2. プラグアンドプレイデータ(EDIDデータ)の設定

(1) REMOTEに接続したキーボードで、<Shift>+<ALT>×2回を押下します。(REMOTE内部のブザーが鳴ります)

(2) EDIDデータが正しく設定されると、LOCAL及びREMOTEの[Power] LEDが1回点滅します。

注. EDIDデータを設定するためには、REMOTEに接続しているモニタの電源をONにして下さい。

注. フルHD(1920x1080)及びWUXGA(1920x1200)に於いて画面が上手く表示されない場合は、<Shift>+<Ctrl>+<ALT>×2回の操作にてEDIDデータを表示しやすいデータに読み替え正常に表示することができます。

11-3. 各国キーボード言語設定

(1) REMOTEの[◀]スイッチと[▶]スイッチを同時に5秒間長押しし、言語設定モードに入ります。

(2) [◀]スイッチと[▶]スイッチの操作で言語を選択します。
[▶]スイッチを押すごとに、“US”→“UK”→“German”→“French”・・と切り替わります。（下表の上から下の順番）
[◀]スイッチを押すごとに、“Danish”→“Belgian”→“Norwegian”→“UNIX”・・と切り替わります。（下表の下から上の順番）

(3) 言語選択が終わったら、[Select]スイッチにて決定し言語設定モードを終了します。

各国キーボード設定は下表の通りです。
デフォルトは、“Japanese”となっています。

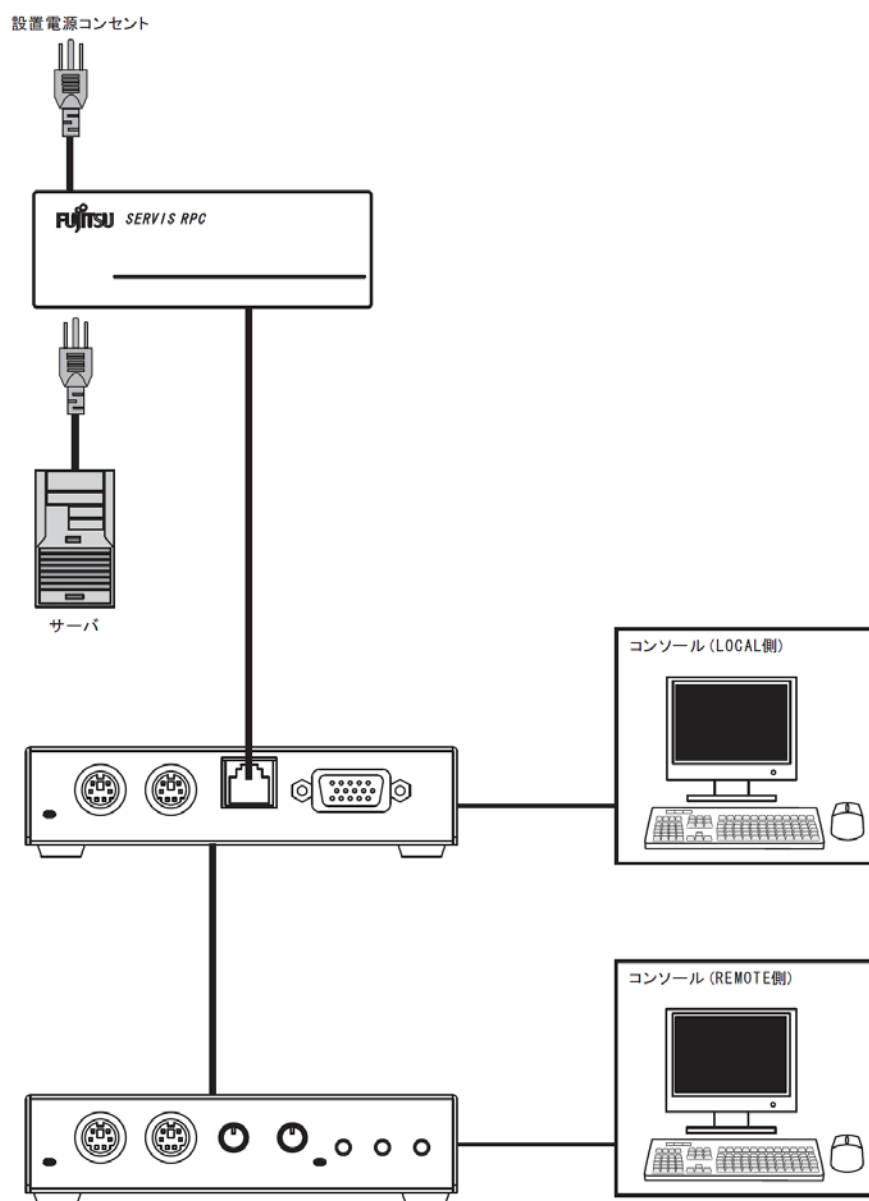
各国キーボード設定	[Power] LED	[RGB] LED		
		R	G	B
Japanese	点灯	消灯	消灯	点灯
US	点灯	消灯	点灯	消灯
UK	点灯	点灯	消灯	消灯
German	点灯	消灯	消灯	点滅
French	点灯	消灯	点滅	消灯
Spanish	点灯	点滅	消灯	消灯
Swedish	消灯	消灯	消灯	点灯
Portuguese	消灯	消灯	点灯	消灯
Chinese(Taiwan)	消灯	点灯	消灯	消灯
Korean	消灯	消灯	消灯	点滅
Italian	消灯	消灯	点滅	消灯
UNIX	消灯	点滅	消灯	消灯
Norwegian	点滅	消灯	消灯	点滅
Belgian	点滅	消灯	点滅	消灯
Danish	点滅	点滅	消灯	消灯

設定された言語は、REMOTE内のROMに格納されLOCALに送信される。LOCALでは、ポートマイコンに内蔵されているFLASH ROMに格納される。
REMOTE内のROMに設定言語が格納される為、REMOTE単体(ACアダプタ接続のみ)でも設定可能です。

11-4. リモート電源制御機能

別売りのリモート電源コンセントを使用することで、サーバの電源を投入(OFF⇒ON)することが可能です。

下記のとおりリモート電源コンセントと本機を接続します。

接続や基本的な操作方法は、リモート電源コンセントの取扱説明書を参照下さい。

(1) LOCAL 又は REMOTE に接続したキーボードで、下記の操作をします。

・<Shift>+<ALT>+<P>を押下します。
・<Shift>+<ALT>を押下したまま<P>を離します(OFF します)。
・<Shift>+<ALT>を押下したまま<O>を押下します。
・<Shift>+<ALT>を押下したまま<O>を離します(OFF します)。
・<Shift>+<ALT>を押下したまま<N>を押下します。
・<N>を離します(OFF します)。
・<Shift>,<ALT>を離します(OFF します)。

(2) 電源コントロールが正しく動作すると LOCAL 及び REMOTE の[Power]LED が一瞬消灯します。

１２．対応機種

12-1. キーボード

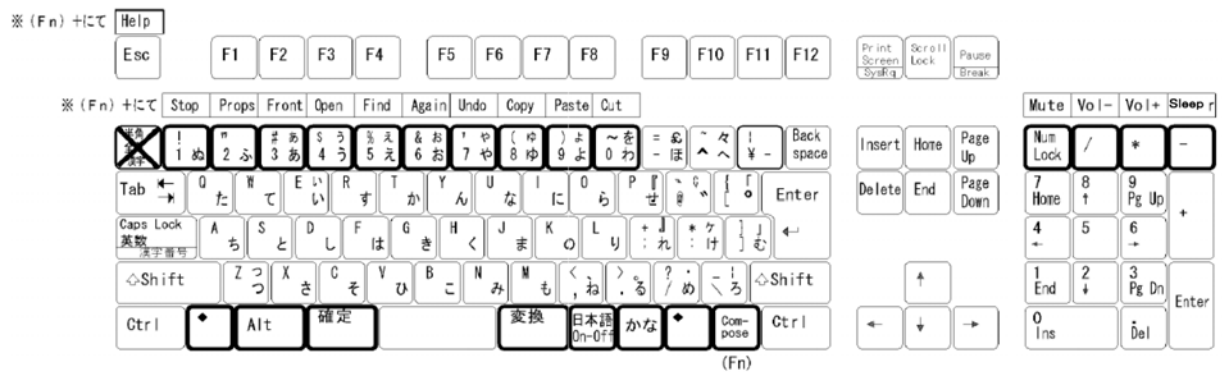
PS/2 準拠キーボード （101～109 キー）
（HUB 付）USB キーボード（101～109 キー、SUN Type6 USB キーボード）
デバイス独自の拡張機能については動作しません。

ORACLE(SUN)サーバ対応とキーレイアウト

サーバと LOCAL 間を USB 複合ケーブルで接続した場合、下記のキーレイアウトになります。

① Windows マシンをホストとして延長し標準キーボードを接続した場合。

② Windows マシンをホストとして延長し ORACLE(SUN) 用標準キーボードを接続した場合。

③ ORACLE(SUN)サーバをホストとし延長し標準キーボードを接続した場合。

注：Application キーを単独押下した時は、Compose キーコードが出力されます。
　　Application キーと他のキー(*(Fn)+のキー列)を併押下することで、SUN 専用
　　キーコードが出力されます。

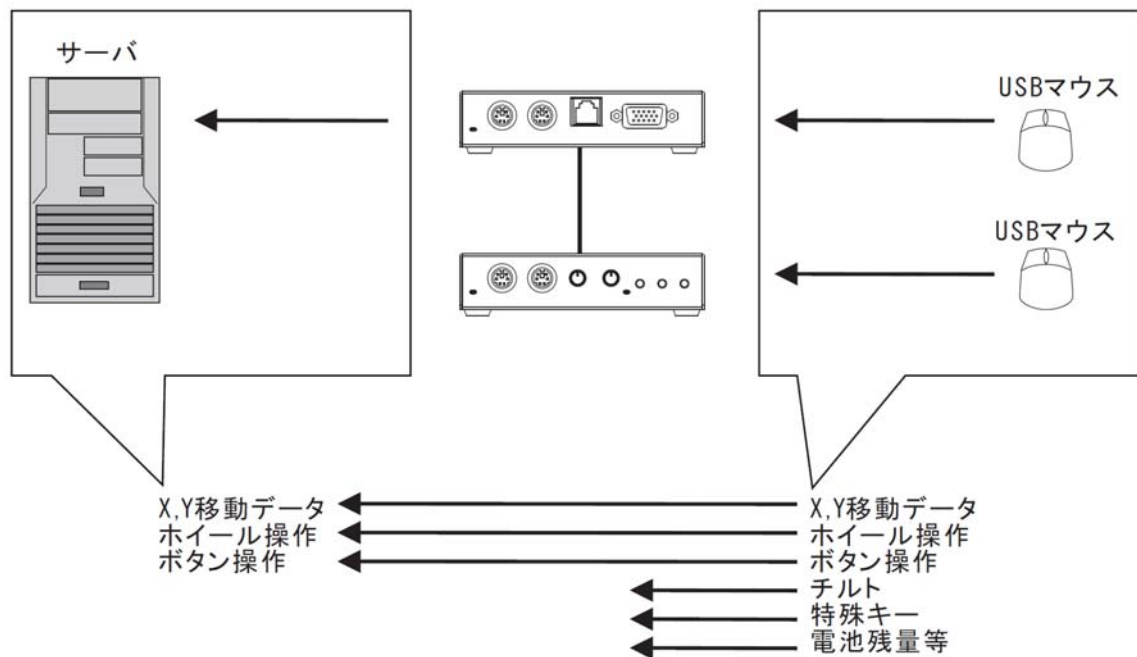
④ ORACLE(SUN)サーバをホストとし延長し ORACLE(SUN) 用標準キーボードを接続した場合。

12-2. マウス

① PS/2 準拠マウス

2 ボタンマウス、3 ボタンホイールマウス、5 ボタンホイールマウス対応

② USB マウス

カーソル、5 ボタン、スクロール機能のみ対応

・XY 移動データは、12bit,16bit などのデータ幅にも対応します。
サーバには、8bit データ幅として送信します。
・ボタンは 5 つまでサポートします。
・チルト、特殊キー、電池残量等のデータはサーバに送信できません。

尚、USB マウスと PS/2 マウスは同時に操作できません。同時に接続した場合には、USB マウスが動作します。

12-3. モニタ

＜サポート解像度＞

解像度	リフレッシュレート
640x480	60
	72
	75
	85
720 x 400	85
800 x 600	56
	60
	72
	75
	85
1024 x 768	60
	70
	75
	85
1152 x 864	75
1152 x 900	66
	76
1280 x 1024	60
	75
	85
1600 x 1200	60
	65
	70
	75
1920x1080	60
1920x1200	60

サーバからのビデオ入力は、セパレートシンク信号及びコンポジットシンク信号に対応しています。

１３．仕様

項　目		仕　様	
名称		送信ユニット(LOCAL)	受信ユニット(REMOTE)
LED 表示	[Power]	1	1
	[RGB]	—	1
スイッチ	[◀],[▶]	—	2
	[Select]	—	1
インターフェース	キーボード	PS/2 キーボードインターフェース(OADG 準拠)	
	マウス	PS/2 マウスインターフェース(OADG 準拠)	
	USB	USB　キーボード、マウス（Low、Full スピード）、ハブ	
	リモート電源	RJ11　6P　オス	-
	送信･受信ユニット間	当社オリジナル仕様(RJ45(Cat5) 8 線)	
コンソールポート	キーボード	PS/2、Mini DIN 6P メス　×1（紫色）	PS/2、Mini DIN 6P メス　×1（紫色）
	マウス	PS/2、Mini DIN 6P メス　×1（緑色）	PS/2、Mini DIN 6P メス　×1（緑色）
	USB(キーボード　マウス)	USB　Type　A　×2	USB　Type　A　×2
	モニタ	Mini D-SUB 15P メス　×1　（青色）	Mini D-SUB 15P メス　×1　（青色）
サーバポート		Mini D-SUB 15P メス×1　（黒色）	-
送信･受信ユニット間延長距離		1～300m	
モニタ解像度、リフレッシュレート		1600 x 1200(最大)、75Hz（～300m） 1920 x 1200(最大)、60Hz（～200m）	
電　源 / 消費電流		DC5V / 0.5A(TYP) DC5V / 1.4A(MAX)	DC5V / 0.9A(TYP) DC5V / 1.9A(MAX)
消費電力 / 発熱量		3.0W / 9.0KJ/H	4.5W / 16.2KJ/H
AC 電源 / 消費電力		AC100V±10% / 9W 以下	AC100V±10% / 13W 以下
コンソールポートへのキーボード/ マウス供給可能電流		PS/2 キーボード　150mA(MAX) PS/2 マウス　150mA(MAX) USB　キーボード　500mA(MAX) USB　マウス　500mA(MAX)	
動作周囲温度 / 湿度		0～40℃ / 10～80%RH	
保存温度		-20～60℃ / 10～85%RH	
最大湿球温度		動作時 25℃以下 非動作時、輸送及び保管時 46℃以下	
構　造		金属ケース、塗装色（黒）	
外形寸法（W×D×H）単位 mm (突起部除く)		110×100×25	110×100×25
質量		0.3kg	0.3kg
添付品		取扱説明書　X 1 AC アダプタ X 2 AC コード X 2 ナイロンクランプ X 2 ネジ(ナイロンクランプ取り付け用、FG 取り付け用)　X 4 フェライトコア X 1 ナイロンバンド(AC アダプタ結束用) X 2	

（参考：オプション）

名称	形格	物番	備考
サーバ/PC 接続専用ケーブル	FP-C007-PS2	NC14000-B601-R	PS/2:0.7m
	FP-C018-PS2	NC14000-B602-R	PS/2:1.8m
	FP-C030-PS2	NC14000-B603-R	PS/2:3.0m
	FP-C050-PS2	NC14000-B605-R	PS/2:5.0m
	FP-C007-USB	NC14000-B101-R	USB:0.7m
	FP-C018-USB	NC14000-B102-R	USB:1.8m
	FP-C030-USB	NC14000-B103-R	USB:3.0m
	FP-C050-USB	NC14000-B105-R	USB:5.0m
リモート電源コンセント	FP-MMCB02-100	NC14004-B793-R	電源制御信号：RJ-11 X 1
L タイプ取付金具	FP-P101	NC14004-B370-R	
VESA 取付金具	FP-P102	NC14004-B371-R	

１４．トラブルシューティング

症　状	原　因	対　策
キーボード、マウスの動作がおかしい / 動作しない。	キーボード、マウスが逆接続。 (PS/2 のみ)	サーバ及び本装置に正しく接続する。
	接続 / ケーブル不良。	コネクタの接続を確認する 別のキーボード又はマウスに交換する。
	サポートしていないキーボード、マウスを接続。	サポートされているキーボード、マウスに交換する。
	PS/2 コンソールと USB コンソールの両方にキーボード、マウスを接続している。	PS/2 か USB どちらかのキーボード､マウスを外す。 PS/2 と USB の両方に接続していると USB 側が優先され、PS/2 側は動作しません。
マウスのボタンが動作しない。	サポートしていないマウスを使用した。	サポートされているマウスに交換する。
USB キーボード、マウスが動作しない。	USB キーボード・マウス以外の USB デバイスは使用できません。	USB キーボード･マウスのみ接続して下さい。
	[POWER] LED が赤色点灯し過電流検出回路が動作した。	故障している USB キーボード・マウスが接続されています。対象のキーボード・マウスを交換して下さい。
画質が劣化する。 (ゴーストや文字のニジミ等)	接続 / ケーブル不良。	コネクタの接続を確認する 別ケーブルと交換し、問題が解決したら、良品ケーブルに交換し、不良ケーブルは廃棄する。
今まで動いていたのに突然動かなくなった。	接続が外れた。	接続を確認し、再起動する。
	サーバに不具合が発生した。	サーバの不具合を直す。
画面が映らなくなった。	サーバの省電力モード設定により画像信号をサーバが出力しなくなった。	マウス又はキーボードの操作等でサーバの省電力モードから抜ける
	サーバの電源が OFF になった。	サーバの電源を入れる。
	モニタの EDID が読み込まれていない。	EDID データを設定する。
	モニタが対応していない。	対応しているモニタを接続して EDID データの設定をする。

保　証　規　定

1.保証期間内に商品が故障した場合は、本規定に従い無償修理致します。
　製品に本書を添えてお買い上げ販売店等にご依頼ください。
2.保証期間内でも次の場合は有償となります。
(1)修理依頼時に保証書またはお買い上げ伝票の提示がない。
(2)お買い上げ日、お客様名、販売店印の記入がない、及び保証書またはお買い上げ伝票を改変した場合。
(3)商品に添付のユーザーズ･マニュアルの注意事項やご使用上の注意を満足していない場合。
(4)出張修理を要する場合。
(5)本書に故障内容を明記されていない場合。
(6)書面が添付されていても、内容が不明で再現のために調査費用が発生した場合。
(7)火災、地震や台風などの天災、騒乱などの人災、公害や異常電圧などの使用環境による故障および損傷。
(8)保管・運搬による故障および損傷。
(9)接続された他の機器に起因して故障した場合。
(10)弊社保守部門以外で修理、調整、改造をした場合。
(11)取扱い上での不注意、ご使用による故障および損傷。
(12)弊社が認めた以外で使用した場合のトラブル。
3.将来販売されるソフト、ハードとの互換性は保証されませんのでご了承ください。
･ソフトやハードの組み合わせ等の相性で発生するトラブルは故障としませんのでご了承ください。
･修理・交換部品が製造中止や入手困難な場合は、相当品または上位互換品と交換する場合があります。
･本商品を第３者に転売した場合は保証対象外となります。
4.本商品の故障またはその使用で生じた直接的､間接的損害は､弊社は一切の責任を負わないものとします。
5.本保証規定は日本国内で有効です。　This warranty is valid in Japan.
また本商品は、極めて高い信頼性が要求される下記のような用途での使用はできません。これらの使用は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください｡
･軍事目的・原子力設備・交通制御設備・防火、防災設備・燃焼制御設備・航空宇宙機器・生命維持のための医療機器・その他人命や財産に影響をおよぼす設備｡

＊保証期間終了後の有償修理は別途見積となります。
本規定は、以上の保証規定により弊社が無償保証を行うためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＜　故障内容　＞
故障内容を具体的に記載ください。
記載ない場合は返却させていただく場合があります。
★1.　パソコン、キーボード、マウス、モニターの型式を記載ください。

★2.　初期不良でしたか？　使用中の故障でしたか？　：（初期／使用中）
★3.　故障内容を具体的に記載ください。

WEB掲載の取扱説明書のため、保証書欄は削除しました。

〈製品のお問い合わせ〉

富士通コンポーネント株式会社

第二マーケティング部　TEL: 03−5449−7006　FAX: 03-5449-2628

E−mail：promothq@fcl.fujitsu.com

ホームページ：http://www.fcl.fujitsu.com

＜修理・不具合に関するお問い合わせ＞

富士通コンポーネント　お客様サービス＆サポートセンター

０１２０−８１０２２５

※携帯、ＰＨＳからもご利用になれます。

E−mail：servis-center@fcl.fujitsu.com

営業時間：９：００〜１２：００、１３：００〜１７：００（土、日、祝祭日を除く）

小型遠隔ユニット [FE-1200CW]

取扱説明書

発行日　　　2013年2月
発行責任者　富士通コンポーネント株式会社

Printed in Japan

● 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。